

県内経済動向調査結果（平成23年1月分）

平成23年 3月11日
企業活性化・雇用緊急対策本部
（産業政策課）

概 況

県内経済は、総じて厳しい状況の中で、製造業を中心に持ち直しの動きを続けてきたが、改善の動きに一服感が見受けられる。

主な業種	状 況
製 造 業	持ち直しの動きを続けてきたが、改善の動きに一服感が見受けられる。 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比4.4%増、同1.5%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲13.3から▲3.7となった。
建 設 業	公共工事の減少により弱めの動きが続いている。 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比51.2%増、同8.6%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲37.5から▲50.0となった。
小 売 業	引き続き家電の売れ行きが減少しているものの、飲食料品は堅調に推移している。 売上高は前年同月比4.0%増、3カ月先の業況見通しDIは▲44.8から▲24.1となった。
サービス業	旅館・ホテルやコンピュータ関連を中心に低調となっている。 売上高は前年同月比10.4%減、3カ月先の業況見通しDIは0.0と横這いであった。

製造業の動向

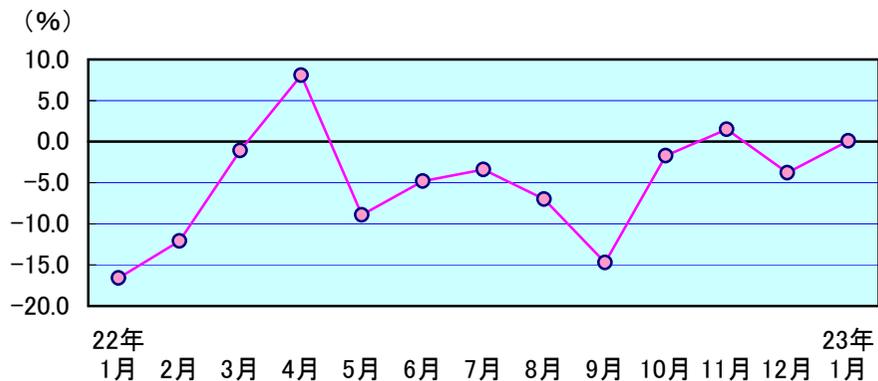
1 食料品

弱めの動きとなっている

生産額は前年同月比0.1%増。3カ月先の業況見通しDIは▲28.6から▲14.3となった。

一部企業において、大雪の影響により生産額が落ち込んでいる状況が見受けられる。また、一部の酒類製造業においては、前年同月を下回る状況が続いており、全体としても弱めの動きとなっている。

食料品生産額前年同月比



	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	23年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
食料品	-16.6	-12.1	-1.1	8.1	-8.9	-4.8	-3.4	-7.0	-14.7	-1.7	1.5	-3.8	0.1

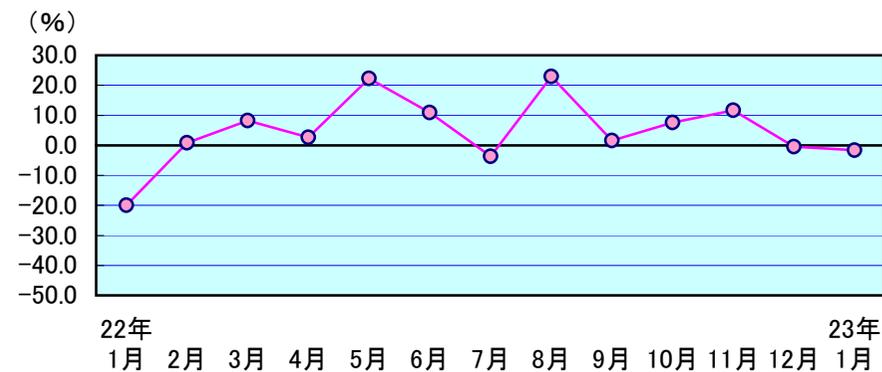
2 繊維・衣服

弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比1.6%減、同6.0%増。3カ月先の業況見通しDIは33.3と横ばいであった。

縫製業界全体として売上げが伸び悩んでいる状況に変わりはないが、一部企業において、中国工場の縮小に伴い生産の一部が国内にシフトされ、生産額が増加している。

繊維・衣服生産額前年同月比



	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	23年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
繊維・衣服	-20.0	0.8	8.2	2.7	22.3	10.9	-3.7	22.9	1.6	7.6	11.7	-0.5	-1.6

3 木材・木製品

やや強含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比13.3%増、同18.8%増。3カ月先の業況見通しDIは▲8.3から0.0となった。

合板において、一部企業で販売単価が値上がりしたことから、全体の生産額が前年同月を上回っている。

なお、今年度の県内新設住宅着工戸数は前年度を3.1%上回っているものの依然として低水準であり、住宅市況の落ち込みが懸念される。

4 鉄鋼・金属製品

弱含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比1.0%減、同17.1%減。3カ月先の業況見通しDIは20.0から▲10.0となった。

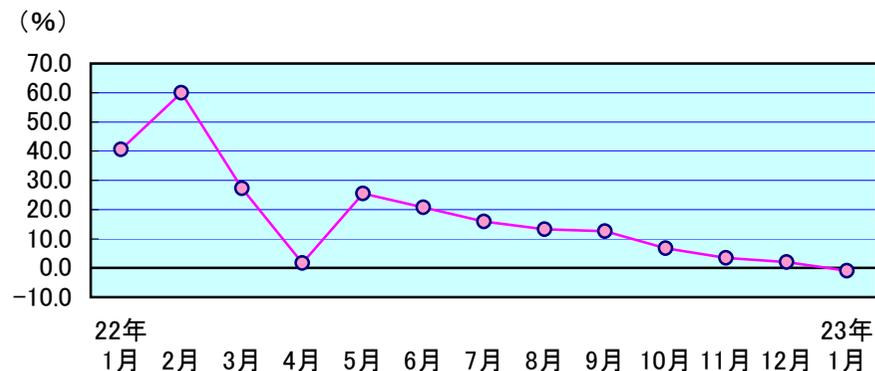
鋼管関連の一部企業で受注が好調に推移しているものの、産業設備関連の一部企業で受注件数が減少しており、全体の生産額は前年同月を下回った。

木材・木製品生産額前年同月比



	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月
木材・木製品	9.7	10.7	12.6	17.1	12.8	18.7	5.7	13.9	3.5	1.5	4.2	9.8	13.3

鉄鋼・金属生産額前年同月比



	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月
鉄鋼・金属	40.6	60.0	27.3	1.7	25.5	20.7	15.9	13.3	12.6	6.8	3.4	2.0	-1.0

5 一般機械

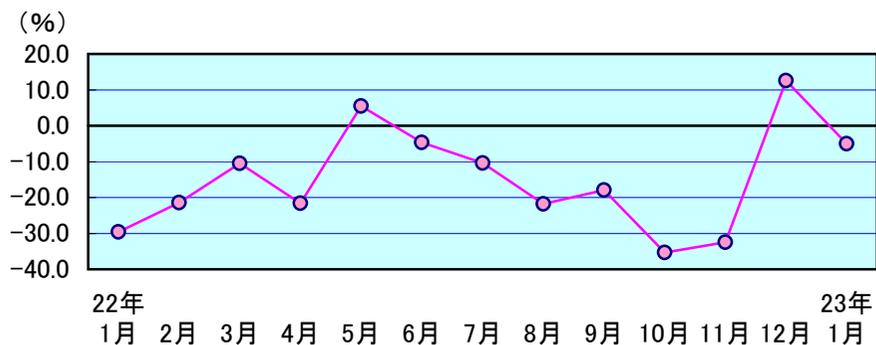
弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比5.0%減、同40.4%減。3カ月先の業況見通しDIは0.0から▲25.0となった。

産業機械設備などで受注動向が思わしくなく、ほとんどの対象企業で前年同月を下回っている。

しかし、一部で明るい兆しも見られるが、全体的に弱めの動きとなっている。

一般機械生産額前年同月比



	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月
一般機械	-29.6	-21.4	-10.5	-21.6	5.5	-4.7	-10.4	-21.8	-17.9	-35.3	-32.5	12.6	-5.0

6 電気機械

やや弱含みとなっている

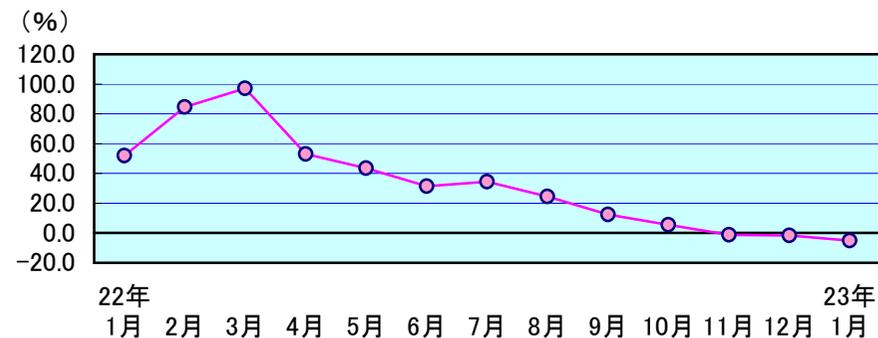
生産額、受注額は、それぞれ前年同月比5.1%減、同6.2%減。3カ月先の業況見通しDIは▲21.1から10.5となった。

一部企業で、海外製品へのシフトにより受注が減少しており、生産額は前年同月を下回る状況が続いている。

また、今年度の生産額の推移についても減少傾向が続いている。

しかし、3カ月先の業況見通しがプラスに転じるなど、今後の受注動向に期待感が伺える。

電気機械生産額前年同月比



	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月
電気機械	52.0	84.5	97.2	53.1	43.6	31.4	34.4	24.5	12.4	5.5	-1.2	-1.6	-5.1

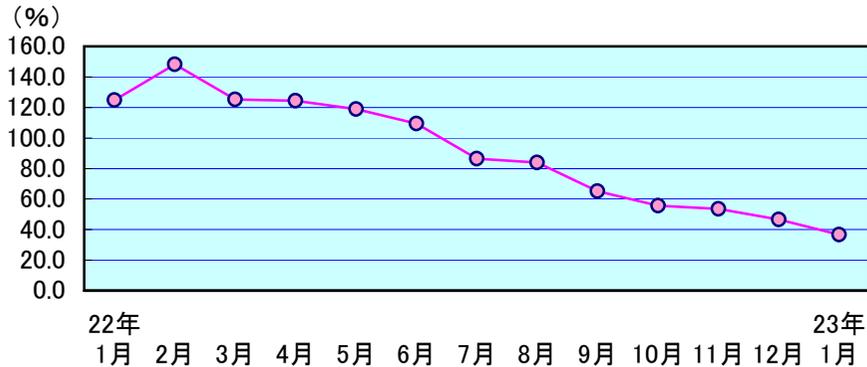
7 輸送機械

回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比36.7%増、同36.3%増。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0と横ばいであった。

一部企業で、国の補助事業終了に伴う生産量の減少がみられるなど、国内需要は低調となっているものの、海外需要は堅調となっており、全体の生産額は底堅く推移している。

輸送機械生産額前年同月比



	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月
輸送機械	124.8	148.1	125.3	124.4	118.8	109.5	86.5	83.9	65.1	55.6	53.6	46.6	36.7

8 精密機械

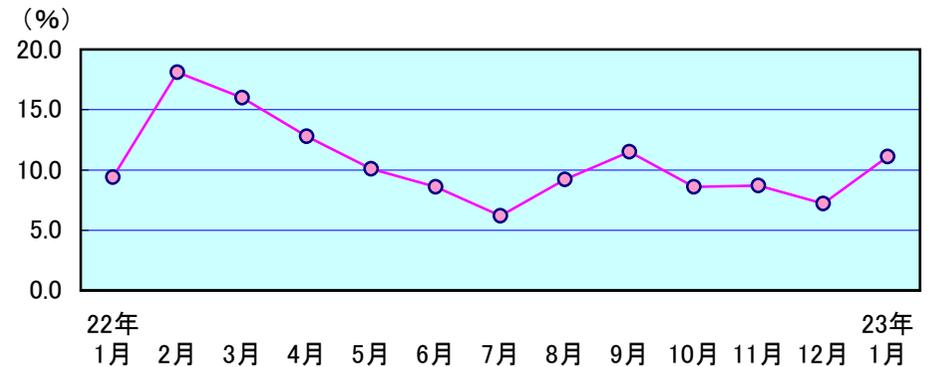
回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比11.1%増、同7.3%増。3カ月先の業況見通しDIは▲37.5から12.5となった。

光ファイバー関連部品やデジタルカメラ関連部品、医療関連商品など、総じて生産額が増加しており、好調さを維持している。

なお、一部企業では、対応できないほどの受注を抱えるなど、3カ月先の見通しも明るい。

精密機械生産額前年同月比



	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月
精密機械	9.4	18.1	16.0	12.8	10.1	8.6	6.2	9.2	11.5	8.6	8.7	7.2	11.1

建設業の動向

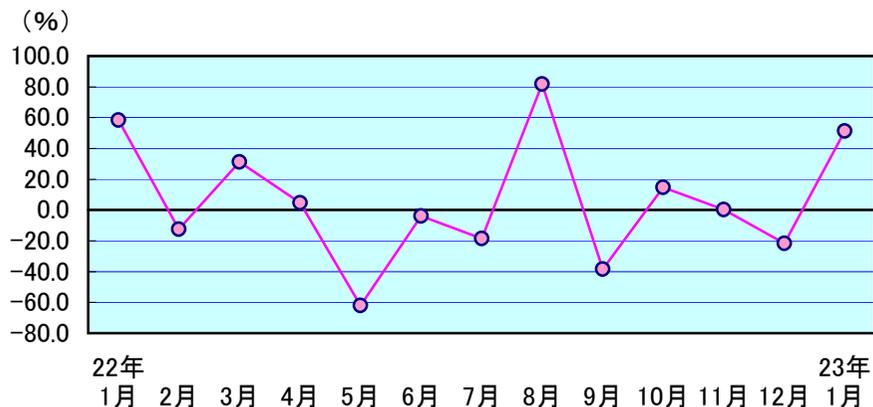
建設業

公共工事の減少により弱めの動きが続いている

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比51.2%増、同8.6%増。3カ月先の業況見通しDIは▲37.5から▲50.0となった。

一部企業で受注額が前年同月を大幅に上回っているものの、全体的な公共投資は減少傾向にあることから、弱めの動きが続いている。

建設業受注額前年同月比



	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月
建設業	58.5	-12.5	31.3	4.7	-62.0	-3.8	-18.5	81.9	-38.5	14.8	0.3	-21.7	51.2

小売業の動向

1 衣料品

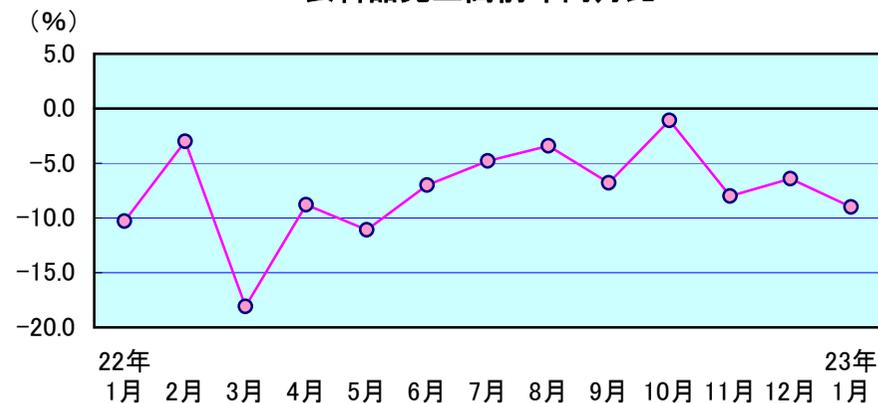
弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比9.0%減。3カ月先の業況見通しDIは▲80.0から▲40.0となった。

全ての調査対象企業において、売上額が前年同月を下回っており、総じて厳しい状況が続いている。

また、3カ月先の業況見通しも明るさは見られず、今後の動向が懸念される。

衣料品売上高前年同月比



	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月
衣料品	-10.3	-3.0	-18.1	-8.8	-11.1	-7.0	-4.8	-3.4	-6.8	-1.1	-8.0	-6.4	-9.0

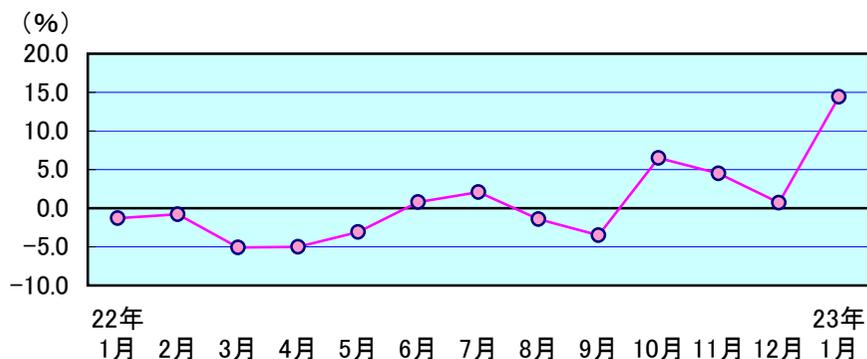
2 身回品

やや強含みとなっている

売上高は前年同月比14.4%増。3カ月前の業況見通しDIは▲28.6と横這いであった。

一部企業において、大雪の影響により除雪関連用品の売れ行きが好調なことから売上額が前年同月を上回っており、全体としても前年同月を上回っている。

身回品売上高前年同月比



	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月
身回品	-1.3	-0.8	-5.1	-5.0	-3.1	0.8	2.1	-1.4	-3.5	6.5	4.5	0.7	14.4

3 飲食料品

やや強含みとなっている

売上高は前年同月比6.0%増。3カ月前の業況見通しDIは▲30.8から▲7.7となった。

大雪の影響により客数が減少したものの、一部企業において弁当等の売れ行きが堅調であったことから、全体の売上額は前年同月を上回っている。

飲食料品売上高前年同月比



	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月
飲食料品	-8.2	-4.1	-4.9	-4.4	-4.9	0.2	2.4	1.0	7.5	-1.2	1.9	4.2	6.0

サービス業の動向

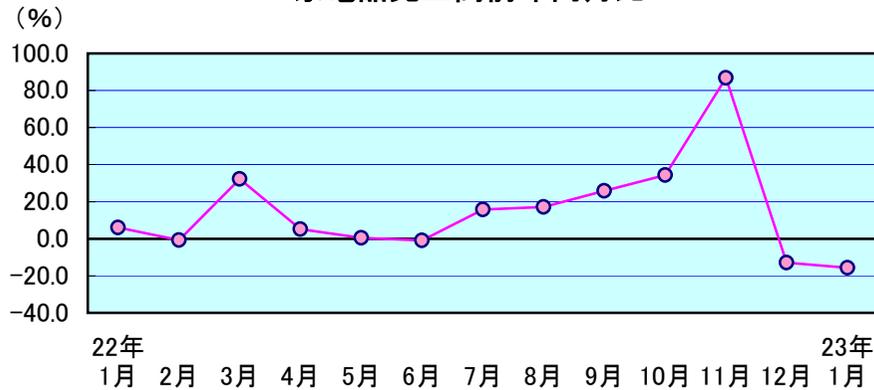
4 家電品

エコポイント対象商品の売れ行きが大幅に減少した

売上高は前年同月比15.6%減。3カ月先の業況見通しDIは▲75.0から▲50.0となった。

家電エコポイント制度変更（12月1日～）前の駆け込み需要の反動から、薄型テレビなどのエコポイント対象商品の売れ行きが落ち込み、売上額は前年同月を大幅に下回る状況が続いている。

家電品売上高前年同月比



	22年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年	1月
家電品	6.1	-0.8	32.3	5.1	0.4	-1.0	15.7	17.2	25.9	34.3	86.8	-12.9	-15.6		

1 旅館・ホテル

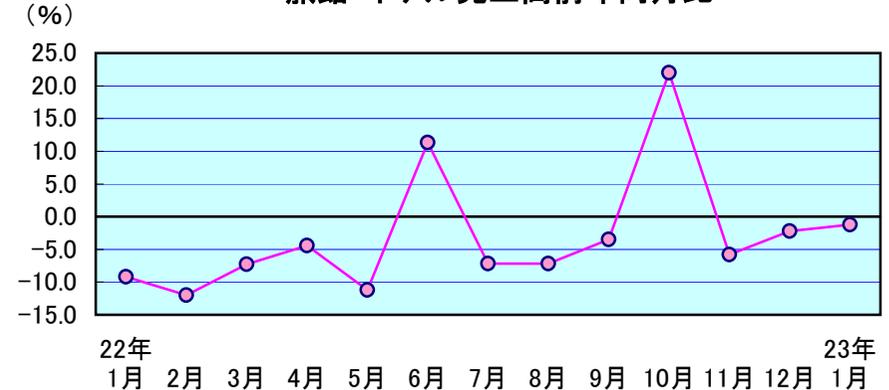
弱めの動きとなっている

売上高は前年同月1.2%減。3カ月先の業況見通しDIは▲20.0から▲13.3となった。

宿泊部門で客数の減少が影響し、売上額が落ち込んだことから、全体として前年同月を下回っている。

総じて見れば、弱めの動きとなっている。

旅館・ホテル売上高前年同月比



	22年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年	1月
旅館・ホテル	-9.2	-12.0	-7.3	-4.4	-11.2	11.3	-7.2	-7.2	-3.5	22.0	-5.8	-2.2	-1.2		

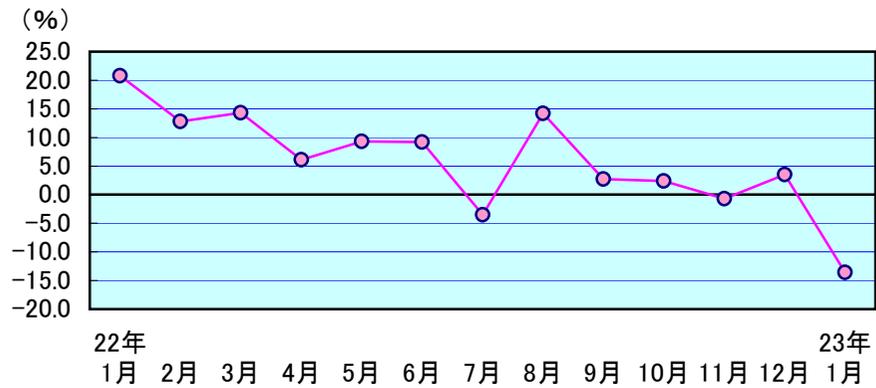
2 その他サービス

やや弱含みとなっている

売上高は前年同月比13.6%減。3カ月先の業況見通しDIは23.1から15.4となった。

コンピュータ関連で売上額が落ち込んだことから、全体として売上額は前年同月を下回った。

その他サービス売上高前年同月比



	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	23年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	1月
その他サービス	20.8	12.8	14.3	6.1	9.3	9.2	-3.5	14.2	2.7	2.4	-0.7	3.5	-13.6	